

地方独立行政法人青森県産業技術センター
令和5年度 業務実績評価書

令和6年9月

青森県

目 次

第一 評価の方法	-----	1
第二 評価の結果		
1 項目別評価		
(1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	-----	3
(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (産業活動への総合的な支援)	-----	10
(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (試験・研究開発の取組状況等の情報発信)	-----	13
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	14
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	16
(6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	-----	17
2 全体評価		
(1) 総評	-----	19
(2) 業務運営の改善その他の措置命令事項	-----	19

第一 評価の方法

地方独立行政法人法第28条第1項及び第3項の規定に基づく、地方独立行政法人青森県産業技術センター（以下「センター」という。）の令和5年度における業務の実績評価については、「地方独立行政法人青森県産業技術センターの業務の実績に関する評価の基本方針」及び「地方独立行政法人青森県産業技術センター事業年度評価実施要領」に基づき行った。

評価の実施は、センターが年度計画に定めた事項ごとにその実績及び自己評価等を内容とする業務実績報告書等を基に、センターから聴取等を行うことにより、業務の実績について調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

1 項目別評価

中期計画の次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、次の5段階の評価基準により評価するとともに、その評価理由を明らかにした。

- (1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)
- (2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
(産業活動への総合的な支援)
- (3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
(試験・研究開発の取組状況等の情報発信)
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
- (6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

〔評価基準〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、記述式により総合的な評価を行った。

第二 評価の結果

1 項目別評価

(1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
--	----	--------------------------

ア 部門別評価

(ア) 工業部門 (評価4)

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項12項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、7項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

<特筆すべき取組>

a 試験・研究開発の成果の移転・普及

(a) 商品化・実用化の推進

インターネットを通じて養魚施設の溶存酸素濃度を遠隔地からリアルタイムでモニタリングするシステムや、収穫した果実・野菜を産地で急速冷凍する技術を活用した鮮度保持に優れた冷凍加工製品の開発など、商品化・実用化の件数が31件(目標達成率207パーセント)と目標値を大幅に上回っており、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

<順調な進捗状況にある取組>

a 試験・研究開発の重点化

[戦略推進事項]

(a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

「はれわたり」及び「まっしぐら」の収穫適期を表示するWebアプリ『あおもり米収穫支援システム「はれナビ」、「まっしナビ」』を開発し、生産指導の効率化と生産性・品質向上に貢献しており、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 健康的な生活に寄与する県産素材を活用した付加価値の高い製品に関する試験・研究開発

自然由来乳酸菌を利用した青森生酏の開発、麹菌の普及、冷凍濃縮及び高機能果実酒の開発などを行うとともに、共同研究及び技術指導により、多数の県産酒類の商品化を支援した。

また、青森県初のブランデー専門製造場開業への支援が、りんご産業の活性化に寄与したとして、『全国食品関係試験研究場所長会「優良研究・指導業績表彰」』を受賞するなど、地域性と機能性の強化による県産酒類の高付加価値化に向け、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点推進事項〕

(a) 人口減少の進行等の本県の地域課題に対応したものづくり産業に関する試験・研究開発

これまで複数人により手作業で行っていたせんべいを可食サイズに割る工程を省力化するためのロボット自動化システムを開発し、製造現場への設置を支援しており、県内産業へのロボット導入促進に寄与していることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 県民の生き生きとした健康未来を支える製品・技術及び地域工芸を支える技術に関する試験・研究開発

異分野への進出などによる地域工芸品の高付加価値化に向け、三層の波状板材を芯とする合板と難燃フィルムを積層した難燃性の木質複合材を企業と共同開発し、商品化を支援しており、順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 農林部門（評価4）

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項14項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

＜特筆すべき取組＞

a 試験・研究開発の重点化

〔重点推進事項〕

(a) 国内外で競争力の高い優良な品種及び種畜に関する試験・研究開発

ながいもについては総収量は少ないものの形状良好でA B品収量が多い新品種「^{ゆめゆき}夢雪」を品種登録出願し、にんにくについては昨年度品種登録出願した「青森福雪」の特性を明らかにして普及に移すなど、県内の特産野菜生産者の経営改善に大きな貢献が見込まれるほか、黒毛和種の種雄牛生産においても県基幹種雄牛「^{かめはなくに}亀花邦」を作出し、県内の肉用牛振興に大きく貢献できる研究成果があったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

＜順調な進捗状況にある取組＞

a 試験・研究開発の重点化

〔戦略推進事項〕

(a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

工業部門との連携により「はれわたり」の収穫適期を衛星画像から推定した情報を表示するWebアプリ「はれナビ」（津軽地域版）を開発し、「まっしナビ」（津軽地域版）とともに普及に移した。また、ながいもの生育モニタリングによる追肥判断技術の開発や、夏秋トマトについて日射センサーのみで高度なかん水量の判断ができることを明らかにしたほか、水稻生育予測モデルによる水管理スケジュールを組み込んだ自動水管理装置の特許を出願するなど、労働力不足等への対応が期待できる生産技術等の研究成果を得たことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 温暖化等の気候変動に対応できる農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

大雨により発生し、ながいもの奇形の原因となる「穴落ち」の対策技術や、メロンやりんご等の高温性病害虫防除技術を明らかにするなど、温暖化等の気候変動に対応した安定生産に貢献することが期待できることから、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点推進事項〕

(a) 産地活力を向上させる高品質で収益性の高い農林畜産物等の生産技術等に関する試験・研究開発

水稻新品種「はれわたり」の高密度播種苗と育苗箱全量施肥を組み合わせた省力栽培技術、アルストロメリアについて生産性・品質に優れる5品種の選定と管理方法、りんごの高密植栽培の定植5年目までの若木の特性などを明らかにしたほか、造林面積の拡大に向けて「カラマツ施業技術マニュアル」を作成するなど、産地の維持・強化に貢献することが期待できることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 環境負荷の軽減等に対応した安全・安心な農林畜産物の生産管理技術に関する試験・研究開発

水稻の高密度播種苗栽培における育苗箱薬施用剤による防除方法、大豆圃場で初確認されたカメムシ類の特徴と防除対策、ながいもで被害が初確認されたカスミカメムシ類の特徴と防除対策を明らかにしたほか、りんご病害虫防除暦の基準薬剤として交信攪乱剤コンフューザーRを採用して普及に移すなど、環境負荷の軽減等に対応した安全・安心な防除方法の開発を進めていることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 水産部門（評価4）

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項12項目のうち、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

<順調な進捗状況にある取組>

a 試験・研究開発の重点化

〔戦略推進事項〕

(a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

ホタテガイのへい死予測技術について、陸奥湾内での調査結果と過去のデータから、前年度に明らかにした成長後のへい死予測式に加え、稚貝分散直後のへい死予測式を明らかにし、既存の成長予測式を基に春季の半成貝生産量予測式を開発したほか、稚貝分散直後におけるへい死予測方法のフローチャートを作成したことにより、生産者の計画的かつ安定的な生産に活用が図られたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点推進事項〕

(a) 浜の活性化を支える水産資源の維持・増大等に関する試験・研究開発

シジミの大型種苗生産技術と放流手法について、放流に適したサイズや生残の良い漁場を初めて把握して「シジミ種苗生産マニュアル」を作成し、小川原湖のシジミ資源・漁獲量の安定化に貢献したほか、栽培漁業技術において、マコガレイとキツネメバルの人工種苗放流効果の指標となる回収率を初めて明らかにし、県栽培漁業基本計画に貢献する成果を得るなど、水産資源の維持・増大等に貢献が見込まれる研究成果を得たことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 漁業経営の安定・発展に向けた水産資源の持続的利用に関する試験・研究開発

アイナメの資源管理手法について、婚姻色を利用する本邦初の学術的にも注目される手法により、本県海域のアイナメの成長・成熟特性等を初めて明らかにしたほか、スルメイカ漁場形成の有無を海域別に予測する手法を確立し、予測結果を漁業者に提供する体制を構築したことにより、漁業者の漁場探索時間の短縮等、より一層の燃油節約に役立てられるなど、水産資源の持続的活用や効率的な漁業経営への貢献が期待できることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(c) 地域の特色ある漁業の発展に向けた新しい技術に関する試験・研究開発

「青い森^{くれない}紅サーモン」生産力強化について、増産のための高密度飼育技術を検討したところ、水中ポンプを用いた酸素溶解機を作製して溶存酸素量を増加させることで、従来基準より2割多く飼育が可能であることを明らかにし、増産の可能性を確認したことにより、養殖技術の進展に貢献することが期待できることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(エ) 食品加工部門（評価4）

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項13項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

＜特筆すべき取組＞

a 試験・研究開発の成果の移転・普及

(a) 商品化・実用化の推進

生産事業者と共同で研究開発を行い、ホタテ、にんじん、ごぼうなどを使ったレトルト食品やトマトを使ったドレッシングなど、商品化・実用化の件数が31件（目標達成率207パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

＜順調な進捗状況にある取組＞

a 試験・研究開発の重点化

〔戦略推進事項〕

(a) 健康的な生活に寄与する県産素材を活用した付加価値の高い製品に関する試験・研究開発

シイタケのグアニル酸を干しシイタケの3～5倍に増加させる新規加工技術を開発して「つゆ」2品の商品化を支援したほか、未利用資源を利用した健康に寄与する加工品の開発において、サツマイモの皮に含まれる総ポリフェノール量が加熱により増加することなどを確認し、機能性成分を多く含む「サツマイモパウダー」等、4品の製造マニュアルを作成するなど、県内事業者の商品開発に貢献したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点推進事項〕

(a) 社会情勢やライフスタイルの変化に対応した食品に関する試験・研究開発

高級魚の品質保持技術について、ヒラメ、マコガレイ、フグ等の品質保持マニュアルを作成し、情報誌や展示試食会での情報提供により県内加工企業等へ普及を図り、県産魚介類の高付加価値化に貢献したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 意欲ある食品関連産業の技術的課題の解決や新商品開発支援に関する試験・研究開発

事業者のニーズに基づき、製品の開発や改良を実施し、農産加工食品17品目、水産加工食品3品目が商品化されたほか、魚離れに対応した製品開発として、調理に手間がかからず、生臭みを低減したイナダ、サケ、アブラツノザメ、ホッキ等のレトルト製品及び惣菜製品等10品の製法をマニュアル化し、県内事業者等に普及を図ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

b 試験・研究開発の成果の移転・普及

(a) 生産現場に有益な技術・情報の提供

県内事業者に対し、新規加工品の製造方法の情報を69件、参考となる研究成果の情報を1件（目標達成率127パーセント）を提供したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

イ 総合評価（評価4）

<評価の理由>

4研究部門の評価の平均値により、「4」相当と認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（産業活動への総合的な支援）

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項11項目のうち、3項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、8項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、産業活動への支援が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 技術相談・指導

(ア) 技術相談への対応

生産事業者及び関係団体等からの3,198件の技術相談について、電話や対面により指導するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 生産現場における指導

農林水産分野において、地域県民局と連携して夏秋トマトの生産指導、肥育牛の飼養管理指導、青森きくらげの栽培指導、ホタテガイの稚貝採取指導等を89回実施するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 依頼試験・分析・調査及び設備・機器の利用

(ア) 依頼試験・分析・調査

依頼試験・分析・調査について、積極的なPRを行い、実施件数が5,504件（目標達成率200パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 設備・機器の利用

設備・機器の利用について、積極的なPRを行い、利用件数が3,181件（目標達成率212パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 関係団体、産業界等との連携・協力

(ア) 研究成果発表会、研修会等の開催

試験・研究開発により蓄積した技術等の成果を広く活用してもらうため、デザイン相談会、協働ロボット普及啓発セミナー、加工試作品展示試食会、各研究所の研究成果発表会等を43回開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 関係団体等との情報交換

技術とノウハウの活用や情報交換のため、関係団体主催の「ホタテガイ採苗勉強会」や「フードビジネス相談会」等に1,449回参加するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 地域産業の担い手の育成や子供たちの産業に対する理解の増進

担い手の育成や子供たちの理解の増進のため、関係団体主催の「溶接技術検定評価」や「青天ナビ操作研修会」等に415回、延べ610人、小学校、中学校、高等学校及び大学に26回、延べ31人の講師を派遣し、産業技術に対する理解を深めてもらうなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

エ 知的財産等の創造・管理・活用

(ア) 創造と有効活用

新たに使用を許諾した「マグネシウム供給剤」や「肺動脈モデル及びその製造方法」などの産業財産権の件数が4件（目標達成率200パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

(イ) 適正管理

権利を適切に管理するため、外部の有識者で構成する「職務発明等審査会」を2回開催し、特許権の更新等を適正に行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 優良な種苗・種畜等の生産と供給

生産者が安全・安心で高品質な農林水産物を安定的に生産するため、水稻の種苗29,842kg、鶏のひな17,296羽、優良種雄牛の凍結精液2,667本を供給するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

オ 緊急事態への迅速な対応

県と締結した「緊急時における業務連携に関する協定」に基づき、緊急事態に対応できる体制を整備し、松くい虫被害が疑われるマツ類のDNA検査を行ってその結果を速やかに県に報告するとともに防除方法の助言を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（試験・研究開発の取組状況等の情報発信）

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項2項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、1項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の取組状況等の情報発信が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 多様な広報媒体を利用した情報発信

ホームページによる研究成果等の情報発信を、新たな動画21件を追加するなどして365回行ったほか、新聞、テレビ、ラジオ等の多様な広報媒体を用いて試験・研究開発の取組状況等をPRするなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 迅速な情報提供

水稲、花き及び野菜の生育状況、りんごの開花予測、陸奥湾の海況などの利用者にとって有益な幅広い分野の情報をホームページで迅速に提供したことで、アクセス数が544,379回（目標達成率272パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価

3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項7項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、業務運営の改善及び効率化の取組が計画どおりに実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 業務の見直し等

(ア) 内部評価、外部評価等に基づいた資源配分

令和6年度に実施する研究課題について、内部評価及び外部評価により予算額を査定するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 業務実績評価やアンケート調査等に基づいた業務の見直し

県の業務実績評価において「業務運営の改善その他の措置命令事項」はなかったほか、センターの利用者を対象としたアンケート調査に基づき業務を見直すなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 情報システム等の有効活用

会議室や機器の利用予約を情報システムで行っているほか、会議のオンライン化を積極的に進め、業務の効率化を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 組織運営

(ア) 企画経営機能の発揮

理事会を5回、所長会議を4回開催し、予算や業務運営に関する計画等を審議するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 各試験研究部門による一体性の確保

理事会や所長会議等での決定事項や各種規程などの共有すべき情報を職員がパソコン上で閲覧できる環境としているほか、スマート農業への早期適応や冷凍食品の研究開発の推進に向けて、研究所の枠を越えて設置しているプロジェクトチームで検討を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 職員の確保と能力の向上

(ア) 職員の資質向上

センターが策定した人員適正化計画に基づく専門性の高いプロパー職員の採用や、優秀な人財確保に向けた大学主催のオンライン企業説明会等への参加をはじめ、センターの人財育成方針に基づき各種研修への職員派遣や資格取得の支援を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 適正な人事評価

人事評価制度を円滑に運用するため県が実施する評価者研修を活用するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価

3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、財務内容の改善に向けた取組が計画どおり実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 運営経費の執行の効率化

(ア) 省資源化の推進

会議のオンライン化を積極的に図って使用料等を削減したほか、業務や健康に支障のない範囲で徹底して光熱費の削減に取り組むなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 職員のコスト意識の向上、運営経費の適正かつ効率的執行

予算の執行状況を情報システムの掲示板で職員に周知してコスト意識の向上を図ったほか、地独会計研修を通じて予算の適正執行等につなげるなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 外部からの研究資金の導入と自己収入の確保

(ア) 公募型研究資金の獲得

企業等からの受託研究費を56課題で140,581千円、国や科学技術振興機構等の公募型研究資金を19課題で26,648千円獲得するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 依頼試験手数料、農林水産物販売収益等の自己収入の確保

保有する機器の利用料金や依頼試験の内容等を研修会等での説明やリストの配布により周知して利用に結びつけるとともに、生乳、米などの農林水産物を販売して自己収入を確保するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 剰余金の有効な活用

剰余金の一部は目的積立金として、人事給与システムの更新費用等に充てており、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

評価

3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、その他業務運営に関する重要目標達成の措置が計画どおり実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 内部統制の強化及び法令遵守の徹底

「内部統制の推進に関する規程」に基づいた内部監査により業務の自己点検を行うとともに、法令遵守の徹底に向け「青森産技を支える人財の育成方針」に基づく基本研修を実施するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 情報管理・公開

「情報セキュリティ規程」に基づき最高情報セキュリティ責任者、総括情報セキュリティ責任者、情報セキュリティ委員などを定めてネットワーク接続端末を管理するとともに、ホームページ管理講習会等を開催し、情報漏えい防止を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 労働安全衛生管理

(ア) 安全衛生管理チェックリストによる各種点検及び労働安全衛生に関する研修等の実施

「職員安全衛生管理規程」に基づき、安全衛生管理チェックリストを用いた機器の自主検査や安全衛生パトロールを実施するとともに、事故事例の周知徹底を行うことにより労働災害の防止を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 職員の心身の健康の保持増進

全職員を対象に定期健康診断を実施し、「要指導」の判定を受けた職員に対して産業医による事后面談を実施したほか、メンタルヘルス担当医によるメンタルヘルス研修を開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

エ 施設・設備の計画的な整備

畜産研究所の総合庁舎の整備について、残工事を行い3月に竣工するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

2 全体評価

(1) 総評

センターは、これまでの成果を継承しながら、技術の実用化や売れる商品づくり等の出口を見据えた取組を戦略的かつ重点的に推進し、本県の産業の振興及び経済の発展を下支えするため、役職員が一丸となって試験・研究開発の業務に取り組んでいる。

「本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及」については、黒毛和種の種雄牛「^{かめはなくに}亀花邦」が優れた産肉能力を持つことを明らかにして基幹種雄牛の指定につなげたことや、従来のながいもより短形状で作業性が良く、不良形状が少なく上位等級品の収量が多い新品種「^{ゆめゆき}夢雪」を育成、品種登録出願したほか、生産事業者との共同研究開発による商品化・実用化の件数が目標を大幅に上回ったこと、「試験・研究開発の取組状況等の情報発信」については水稻、花き及び野菜の生育状況、りんごの開花予測、陸奥湾の海況などの利用者にとって有益な幅広い情報をホームページで迅速に提供することでアクセス数が目標値を大幅に上回ったことから、「中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

「産業活動への総合的な支援」など3項目については、計画どおり実施されたことから、「中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」とした。

第三期中期目標・計画期間（令和元年度～令和5年度）における令和5年度の業務の実績評価は、「中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」が3項目、「中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」が3項目であることを勘案し、順調な進捗状況にあると評価する。

(2) 業務運営の改善その他の措置命令事項

特になし。